

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所 津和野土木事業所	氏名	杉原 由梨
派遣先 団体名	息域スペース ポコ・ア・ポコ		
<p>①研修の日時 H24年9月12(水)～14日(金)、18日、20日 9:00～16:00</p> <p>②研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>○作業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふきとりーな」(台所用ふきん)の布の裁断 ・「吸油玉」(食用油を吸い取るもの)の裁断・広げる作業 ・「みずすまし」(台所用三角コーナーの袋)を裏返す作業 ・ちらしの色塗り <p>○文化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習(13日午前) <p>「彩ちらし」、「豚しゃぶヨーグルト味噌ソースがけ」、「じゃがいもとねぎのとろとろスープ」を調理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習字(13日午後) <p>自由に書きたい言葉を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生け花 ・小川さんより活動の経過、課題等について説明 			
<p>① 研修の感想</p> <p>(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)</p> <p>この研修で、あまり経験したことのない「福祉」という場に接することができ、貴重な体験となりました。不安もありましたが、皆さんが温かく迎えてくださったおかげで、楽しく穏やかな5日間を過ごすことができました。作業をする場、といっても強い制約があるわけではなく、好きな時に来て、作業やイベントに参加して、好きな時に帰って良いという点が、皆さんにとって気軽に立ち寄れる「居場所」になっているということを実感しました。</p> <p>小川さんのお話によると、松江・出雲と比較して益田地区は障害者にとっての「場」が少なく、益田で生まれた人たちは他地域の学校や施設に通わなくてはならない現実があるそうです。やっと最近になって養護学校ができましたが、津和野にいたってはそういった福祉の施設は一つしかなく、医療が貧弱であると嘆かれておりました。施設も病院も大きなところが全てを担うのではなく、利用する人たちにとって、多様な選択ができるほどの多くの「場」が必要であることが分かりました。ポコ・ア・ポコはその「場」の一つとして他施設とのネットワークを結んでおり、このネットワークをいかに広げていくかが、今後の福祉の課題であると思われます。今回は福祉の現場を体験しましたが、これに留まらず様々な分野に興味を持ち、ボランティアという形でも積極的に地域の活動等</p>			

に参加できるようにしたいと思います。

② その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。